

2021（令和3）年度日本獣医師会獣医師生涯研修事業 研修カリキュラム

○ 小動物獣医師向けカリキュラム

1. 基本事項		3. 各種疾患における事項（基本的事項と最近の話題）	
小1(1)	獣医師に必要な関連法規（獣医師法、獣医療法、家畜伝染病予防法、狂犬病予防法、食品衛生法、薬事法、動物の愛護及び管理に関する法律、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等）	小3(1)	感染症
小1(2)	放射線防護並びに関連法規〔放射線防護に関連する施行規則、放射線障害防止法、労働衛生安全法（電離放射線障害防止規則）〕	小3(2)	中毒
小1(3)	獣医倫理（インフォームド・コンセント、臨床研究、再生医療）	小3(3)	腫瘍
小1(4)	動物福祉	小3(4)	新生子疾患
小1(5)	人と動物の関係（動物行動学、動物介在療法、学校飼育動物、野生動物への対応等を含む）	小3(5)	老齢性疾患
小1(6)	食品衛生・保健衛生（食品衛生・保健衛生等に関する指導、関連する薬事等）	小3(6)	呼吸器・循環器疾患
小1(7)	One Health	小3(7)	消化器疾患・口腔疾患（歯科を含む）
小1(8)	病院経営と労務管理（経営と施設管理、労働基準法の遵守）	小3(8)	泌尿器・生殖器疾患〔不妊等産科（臨床繁殖）を含む〕
2. 臨床的事項（各診療科における基本的な事項も含めて修得する）		小3(9)	運動器疾患
小2(1)	診療技術（診察法、基本的臨床検査法、理学的検査法、採血法、採尿法、生検法、穿刺法等）	小3(10)	神経・感覚器疾患（行動異常を含む）
小2(2)	外科的処置（外科手術に対する心構え、滅菌・消毒法、局所麻酔と全身麻酔法、基本的な外科手術、術前・術中・術後の管理等）	小3(11)	血液・造血器疾患
小2(3)	救急対処法（血管確保法、呼吸器管理法、蘇生法、緊急薬等）	小3(12)	内分泌・代謝性疾患
小2(4)	治療法〔基本的治療法（注射法、輸液、輸血、薬物療法、化学療法等）、先端的治療法（免疫療法、臓器移植、人工臓器、遺伝子治療等）〕	小3(13)	皮膚疾患
小2(5)	看護法（分娩介助、新生子・老齢動物・入院動物の看護等）	4. 関連事項（小動物獣医師に修得して欲しい産業動物・公衆衛生分野の事項）	
小2(6)	予防法（ワクチネーション、一般感染症の予防、人と動物の共通感染症対策）	小4(1)	産業動物の衛生管理
小2(7)	画像検査法（X線検査法、超音波検査法、内視鏡検査法、CT検査法、MRI検査法）	小4(2)	産業動物疾病の予防（疫学、予防接種等）
		小4(3)	産業動物の感染症（共通感染症、監視伝染病等）
		小4(4)	産業動物の遺伝性疾患
		小4(5)	生産獣医療システム（プロダクションメディスン、代謝プロファイルテスト等）
		小4(6)	食品衛生（HACCPシステム等）
		小4(7)	人と動物の共通感染症の分類、伝播様式（病原体と伝播様式）
		小4(8)	環境保健
		小4(9)	獣医学分野、公衆衛生分野における疫学
		小4(10)	公衆衛生分野からみた動物用医薬品と薬剤耐性

○ 産業動物獣医師向けカリキュラム

1. 基本事項		3. 衛生的事項	
産1(1)	獣医師に必要な関連法規(獣医師法、獣医療法、家畜伝染病予防法、狂犬病予防法、食品衛生法、薬事法、動物の愛護及び管理に関する法律、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等)	産3(1)	疾病予防
産1(2)	放射線防護並びに関連法規[放射線防護に関連する施行規則、放射線障害防止法、労働衛生安全法(電離放射線障害防止規則)]	産3(1)①	疫学
産1(3)	獣医療倫理(インフォームド・コンセント等)	産3(1)②	防疫
産1(4)	動物福祉	産3(1)③	消毒
産1(5)	食品衛生・保健衛生(食品衛生・保健衛生等に関する指導、関連する薬事等)	産3(1)④	予防接種
産1(6)	畜産経済(経済疫学等)	産3(1)⑤	衛生動物の駆除
産1(7)	One Health	産3(1)⑥	感染症・寄生虫病の実態と対策
産1(8)	農場 HACCP と GAP	産3(2)	環境衛生
産1(9)	ポジティブリスト	産3(2)①	一般環境要因
産1(10)	抗菌剤の使用法と薬剤耐性菌の出現	産3(2)②	畜産廃棄物とその管理
2. 臨床的事項		産3(2)③	家畜と騒音
産2(1)	重点事項	産3(3)	管理衛生
産2(1)①	繁殖の管理と障害	産3(3)①	畜舎衛生
産2(1)②	乳房炎	産3(3)②	放牧衛生
産2(1)③	蹄病・運動器病	産3(3)③	輸送衛生
産2(1)④	子牛と子豚の下痢・肺炎	産3(4)①	飼養
産2(1)⑤	代謝病と生産病	産3(4)②	飼料
産2(1)⑥	感染症と寄生虫病	産3(4)③	栄養障害
産2(1)⑦	肥育牛の多発疾病と予防	産3(4)④	代謝障害
産2(1)⑧	衛生管理	産3(4)⑤	中毒
産2(1)⑨	監視伝染病・海外悪性伝染病	4. 関連項目(産業動物獣医師に修得して欲しい小動物・公衆衛生分野の事項)	
産2(1)⑩	生産獣医療システム	産4(1)	小動物獣医療倫理(インフォームド・コンセント等)
産2(2)	診療技術	産4(2)	小動物診療技術
産2(2)①	診察法	産4(3)	小動物診療における外科的処置
産2(2)②	臨床検査法	産4(4)	小動物診療における救急対処法
産2(2)③	画像検査法	産4(5)	小動物の疾病
産2(2)④	理学・光学的検査法	産4(6)	食品衛生(HACCPシステム等)
産2(2)⑤	治療法	産4(7)	人と動物の共通感染症の分類、伝播様式(病原体と伝播様式)
		産4(8)	環境保健
		産4(9)	獣医学分野、公衆衛生分野における疫学
		産4(10)	公衆衛生分野からみた動物用医薬品と薬剤耐性

○ 公衆衛生獣医師向けカリキュラム

1. 一般事項		公2(1)⑥	乳・乳製品の衛生
公1(1)	獣医師に必要な関連法規(獣医師法、獣医療法、家畜伝染病予防法、狂犬病予防法、食品衛生法、薬事法、動物の愛護及び管理に関する法律、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、と畜場法、食鳥検査法等)	公2(1)⑦	食用卵の衛生
公1(2)	公衆衛生活動(公衆衛生学と衛生行動、健康づくり対策、地域保健対策)	公2(1)⑧	水産食品の衛生
公1(3)	公衆衛生分野の疫学	公2(1)⑨	その他の食品の衛生(輸入食品、特殊栄養食品、遺伝子組み替え食品等)
公1(4)	食品衛生における危害と対応	公2(2)	共通感染症
公1(4)①	世界、我が国での食中毒、食品媒介感染症の状況	公2(2)①	共通感染症の発生要因
公1(4)②	HACCPシステム	公2(2)②	共通感染症の分類、伝播様式
公1(4)③	リスクアナリシス(リスク分析、リスク管理、リスク評価)	公2(2)③	ウイルス性感染症
公1(4)④	動物用医薬品と薬剤耐性	公2(2)④	リケッチア、クラミジア感染症
公1(5)	共通感染症の現状と対応	公2(2)⑤	細菌性感染症
公1(5)①	感染症新法と共通感染症	公2(2)⑥	真菌性感染症
公1(5)②	世界、我が国での新興・再興感染症の状況	公2(2)⑦	原虫性感染症
公1(5)③	感染症の発生と対応	公2(2)⑧	寄生虫性感染症
公1(6)	環境保健	公2(2)⑨	その他の感染症(プリオン病等)
公1(6)①	汚染物質と人・動物への影響	公2(3)	環境保健
公1(6)②	畜産廃棄物と土壌水質汚染	公2(3)①	環境保健の概念と環境アセスメント
公1(7)	One Health	公2(3)②	汚染物質と環境での動態
公1(8)	野生動物の衛生対策(感染症、外来生物と生態系)	公2(3)③	地球環境問題と健康への影響
公1(9)	放射性物質による汚染	公2(3)④	大気の衛生
2. 基本事項		公2(3)⑤	水の衛生
公2(1)	食品衛生	公2(3)⑥	下水の管理
公2(1)①	食品由来危害物質	公2(3)⑦	廃棄物と環境
公2(1)①ア	生物学的危害物質(ウイルス、細菌、原虫、寄生虫)	公2(3)⑧	公害の定義・分類とその対策
公2(1)①イ	化学的有害物質〔自然毒(動物性、植物性)カビ毒、抗菌、農薬、その他〕	公2(3)⑨	衛生動物と環境管理
公2(1)①ウ	食品に起因する新興・再興感染症	公2(4)	人と動物の関係
公2(1)②	危害の制御法	公2(4)①	伴侶動物の衛生管理
公2(1)②ア	滅菌・殺菌	公2(4)②	学校飼育動物、展示動物の衛生管理
公2(1)②イ	保存・保蔵	公2(4)③	動物(伴侶動物)の行動学
公2(1)③	食品の衛生管理システム	公2(4)④	動物介在療法
公2(1)③ア	HACCPシステム	公2(4)⑤	動物福祉
公2(1)③イ	リスクアナリシス	3. 関連項目(公衆衛生獣医師に修得して欲しい小動物・産業動物分野の事項)	
公2(1)③ウ	生産から消費の流れ(加工技術、保蔵技術、流通システム)	公3(1)	小動物獣医療倫理(インフォームド・コンセント等)
公2(1)④	各種危険物質とその検査法	公3(2)	小動物診療技術
公2(1)④ア	食中毒の疫学調査	公3(3)	小動物診療における外科的処置
公2(1)④イ	食中毒起因微生物	公3(4)	小動物診療における救急対処法
公2(1)④ウ	自然毒(動物性、植物性)	公3(5)	小動物の疾病
公2(1)④エ	化学物質、農薬、抗生物質	公3(6)	産業動物の衛生管理
公2(1)④オ	残留農薬等ポジティブリスト制	公3(7)	産業動物疾病の予防(疫学、予防接種等)
公2(1)④カ	アレルギー物質を含む食品とその表示	公3(8)	産業動物の感染症(人と動物の共通感染症、監視伝染病等)
公2(1)⑤	食肉・食鳥肉の衛生	公3(9)	産業動物の遺伝性疾患
		公3(10)	生産獣医療システム(プロダクションメディスン、代謝プロファイルテスト等)

